2016,10,30　　中央分水嶺・紅葉のブナ原生林探訪　　百里ヶ岳トレッキング記

「素晴らしいお天気。紅葉もすばらしく、さすが百里ヶ岳ね。」「良いね・・」と何度も。京都からのＹさん「来年も計画してね」「やっぱり紅葉の百里ヶ岳は、すばらしい・・。」と大満足。帰りに道の駅藤樹の里により、お土産購入など楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史　鯖街道　　若狭国などの小浜藩領内（おおむね現在の嶺南に該当）と京都を結ぶ街道の総称である。主に、魚介類を京都へ運搬するための物流ルートであったが、その中でも特に鯖が多かったことから近年になって鯖街道と呼ばれるようになった。根来坂峠の地蔵・経塚は、古くから往来の安全を見守る地蔵二尊が安置されている。また、大乗妙典一国一字塔には、寛政九年（1797）針畑村小林彦大夫の名がある。若狭・近江、そして京へと安全な往来を願った人々の心が今も感じることのできる峠である。

◆自然観察

ナツエビネ

ツキヨダケ：猛毒

もみじの紅葉

ナナカマド

ブナの黄葉

センブリ

リンドウ

◆トレッキングの様子

登山口

熊の爪跡の観察

きれいな黄葉　①

②

眺望を楽しむ

眺望を楽しみながら

前方は百里ヶ岳

急坂を上る①

②

綺麗な黄葉

眺望を楽しむ

,百里ヶ岳山頂にて

下山①

②

③

④

⑤　根来坂峠

眺望を楽しむ

きれいな眺望

無事下山